

この変更により前年度の財務書類に与える影響は以下の通りである。
 貸借対照表において、未収保険料が130,197百万円減少するとともに、未収国庫負担金が698,238百万円及び他会計繰入未収金が63,310百万円増加し、未払金が1,759,471百万円減少するとともに、他会計繰入未済金が1,746,576百万円増加し、公的年金預り金が4,345,483百万円増加している。
 また、資産・負債差額増減計算書において、本年度末資産・負債差額が3,701,236百万円減少するとともに、業務費用計算書において、業務費用合計が1,694,846百万円減少している。

5. 追加情報

(1) 各財務書類における表示科目の説明

<連結貸借対照表>

- ・「現金・預金」には、当該年度末の年金勘定における支払元受高たる現金、決算剰余金、財政融資資金に預託した預託金との合計額、及び年金資金運用基金における現金・預金残高を計上している。
- ・「有価証券」には、年金資金運用基金における有価証券を計上している。
- ・「たな卸資産」には、主に独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構国民年金勘定における販売用不動産を計上している。
- ・「未収金」には、当該年度末の年金勘定における当該年度分、過年度分の雑収入等の未収額及び年金資金運用基金における未収金を計上している。
- ・「未収保険料」には、当該年度末の年金勘定における当該年度及び過年度分の保険料の未収額を計上している。
- ・「未収収益」には、年金勘定における財政融資資金預託金に係る未収利息及び年金資金運用基金における未収収益を計上している。
- ・「前払費用」には、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構厚生年金勘定における前払費用を計上している。
- ・「貸付金」には、主に年金資金運用基金における貸付金を計上している。
- ・「その他の債権等」には、年金資金運用基金におけるその他資産等を計上している。
- ・「貸倒引当金」には、未収金等の債権に係る回収不能見込額を計上している。
- ・「土地」には、年金勘定における土地の国有財産台帳記載額及び年金資金運用基金における土地を計上している。
- ・「立木竹」には、年金勘定における立木竹の国有財産台帳記載額及び年金資金運用基金における立木竹を計上している。
- ・「建物」には、主に年金勘定における建物の国有財産台帳記載額及び年金資金運用基金における建物から減価償却累計額を控除した額を計上している。
- ・「工作物」には、年金勘定における工作物等の国有財産台帳記載額及び年金資金運用基金における工作物等から減価償却累計額を控除した額を計上している。
- ・「物品等」には、主に取得価額50万円以上の重要物品について減価償却累計額を控除した額を計上している。
- ・「無形固定資産」には、主に年金資金運用基金における無形固定資産を計上している。
- ・「その他投資等」には、主に年金資金運用基金におけるその他投資等を計上している。
- ・「未払金」には、当該年度末における厚生年金保険給付費に係る2・3月分の未払金等を計上している。
- ・「未払費用」には、主に年金資金運用基金における借入金利子に係る未払費用等を計上している。
- ・「賞与引当金」には、翌会計年度6月に支給される期末手当、勤勉手当の支給見込額のうち、本会計年度に帰属する額を計上している。
- ・「運用寄託金」には、年金資金運用基金における運用寄託金を計上している。
- ・「公的年金預り金」には、現金・預金及び運用寄託金（いわゆる積立金）並びにその他将来の年金給付財源に充てるために保有している資産の合計額から、未払金を控除した額を計上している。